

# 緊急赤潮情報R6-4

令和6年7月18日

大分県農林水産研究指導センター  
水産研究部北部水産グループ

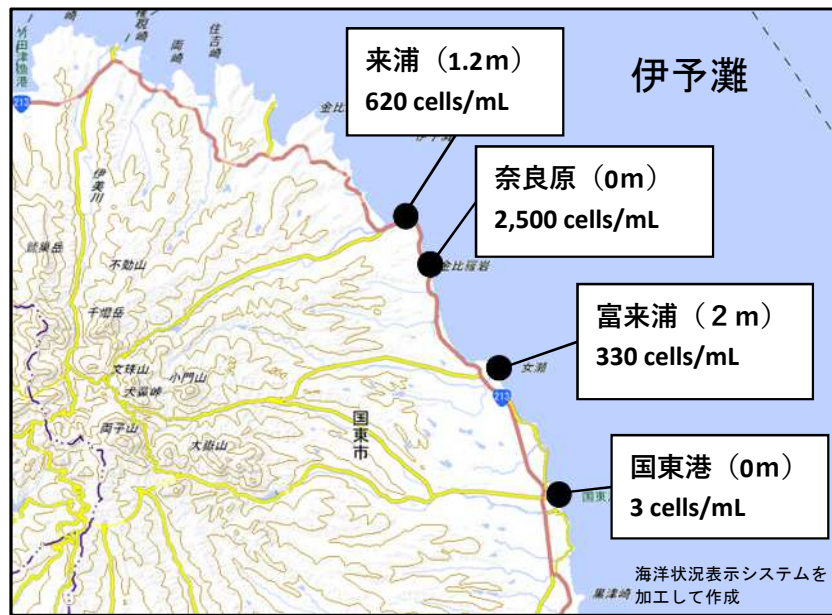
伊予灘（来浦漁港、奈良原、富来浦）にて有害赤潮プランクトンであるカレニア ミキモトイが警戒密度を超えて確認されました。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査月日	調査場所	調査時間	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	カレニア ミキモトイ (細胞/ml)
7月18日	来浦漁港	12:30	0	26.1	-	260
		12:30	1.2	25.3	-	620
	奈良原	12:41	0	26.3	-	2,500
	富来浦 (くにさき支店前)	12:05	0	28.3	-	1
		12:05	2	24.9	-	330
	国東港	13:00	0	24.9	-	3
13:00		4	23.4	-	0	

採水：大分県東部振興局  
検鏡：大分県東部振興局

カレニア ミキモトイ  
・注意密度  
200細胞/ml  
・警戒密度  
2,000細胞/ml



カレニア ミキモトイは非常に有害なプランクトンです。  
以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

## (カレニア ミキモトイ赤潮の留意点)

- ①カレニア ミキモトイは、魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ②特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ③本種は赤潮の初期には中・底層で増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すプランクトンです。水色や漁模様の急変など海域監視の強化に努めてください。

## (赤潮発生時の留意点)

- ①特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
- ②赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。